



近年女性の広場による傍聴が増えている。(6月定例会の一般質問の傍聴席)

女性の社会的地位は向上しているといわれても、国、地方議会を問わず女性議



男女共同参画

上大迫清盛議員

女性模擬議会の開催は
気運の盛り上がりで実施

員の数は極めて少数である。女性の地方自治に対する参加意識を高め、女性の提言を町政に生かすため、各種女性委員の積極的な選任はもとより、女性の模擬議会を開催する考えはないか伺いたい。

町長

各種審議会の委員の選任の過程において登用の努力はしていますが十分に進んでいない状況です。審議会等委員の女性委員数は、委員総数223人に対して16人で7.2%の構成比となっています。那平均12.2%、県平均14.2%に比べ低い状況です。今後とも女性の登用を助めていく必要があると考えています。女性の模擬議会については、婦人団体連絡協議会や、女性の広場等での気運の盛り上がりを見ながら実現の方向で努力したい。

周辺整備の対応は
補助導入は検討

宮之脇金次郎議員

紫尾温泉



奥薩摩構想や第4次鶴田町総合振興計画等、紫尾温泉周辺の重点的施設の整備の促進が謳われている中、温泉周辺の構想図もほぼ完了し、また紫尾温泉改築等も計画どおり進んでいる現状である。更に構想図を現実化するために紫尾区はもとより、町が軸になり整備計画の進行が必要と思うが、今後どのように対応していけるか、町長の考えを伺いたい。

町長

紫尾温泉周辺の整備計画は、電源地域振興



長年親しまれてきた紫尾温泉(改築のため7月中旬に取り壊された。)

構想図で計画されたものがすべて実施できるとは限らないので、中身をよく議論し段階的に取り組んでいきたいと思っています。駐車場の問題は、トンネル捨て土を利用しての方が経費が安く済むということですが、経費がいくらかかるか、それが一番よい方法なのか議論を煮詰めた上で検討したいと思っています。

一般質問

今回の一般質問は6月18日に行われ3人の議員が登壇しました。質問と答弁の要旨をお知らせします。

顕彰碑

高嶺虎男議員

「つよ女」碑の移転を望む
総合的な条件整備が先決

明治2年7月26日、本町の子孫植村つよ女は、農作業から帰る途中、川内川の大神野寺床付近で舟が転覆して、流される父を助けるが親子共々水死した。時の薩摩藩主は、これぞ孝行娘の行動は人間教育の基本と称え、金百両と祭祀を下し、村頭は、その功徳を後世に伝えんと立派な顕彰碑を旧鶴小に建立したが、ダム建設用建物造成のために現在地に移設され、以来人目を



見ず寂れている。今こそ孝徳を忍ぶ時代。すみやかに孝行娘つよ女が引き上げられた広域農道橋付近に移設し、広く住民や学童に孝行心を周知すべきと思うが、移設に対する考えを伺いたい。

教育長

植村つよさんの行為と話は、郷土教育や道徳の授業の資料として、



県道鶴田大口線沿い(山神付近)にある顕彰碑

あるいは人間教育の立場から活用できると思っています。顕彰碑移転については、現地にあつてはじめて生きてくる、との考え方も一方ではあり、心と物の観点から総合的に条件整備をする必要があり、移転については、もう少しいろんな方の意見を聞きながら、町当局を含め今後検討していきたい。

ここを、ただしてみました